



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 ピクスタ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣 大介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田 茂穂 TEL 03 (5774) 2692
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,306	3.8	89	△43.8	89	△43.5	60	△46.1
2024年12月期中間期	1,258	△2.4	159	10.2	158	10.8	111	△31.0

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 58百万円 (△48.0%) 2024年12月期中間期 112百万円 (△30.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	34.74	34.64
2024年12月期中間期	58.01	57.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	2,338	1,145	47.3
2024年12月期	2,609	1,159	43.1

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 1,106百万円 2024年12月期 1,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	4.1	219	△61.7	225	△60.2	158	△59.8	91.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、短信添付資料の8ページ「2. (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」の「中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	2,296,640株	2024年12月期	2,296,640株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	562,618株	2024年12月期	562,818株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	1,734,000株	2024年12月期中間期	1,926,570株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調となっているものの、物価上昇による個人消費の弱さや、米国の通商政策、金融資本市場の変動により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン(以下、スマホ)アプリやインターネット広告(動画広告を含む)の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス(以下、SNS)に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライブイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA(ピクスタ)」、出張撮影プラットフォーム「fotowa(フォトワ)」を運営してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間は、売上高1,306,891千円(前年同期比3.8%減)、営業利益は89,547千円(前年同期比43.8%減)、経常利益は89,665千円(前年同期比43.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は60,246千円(前年同期比46.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、少量ダウンロードプランの利用ユーザーが減少したこと等により、69,897人(前年同期比3.5%減)となりました。一方、単品の月間購入者数累計は、ライトユーザーの離脱が影響したこと等により、45,392人(前年同期比15.6%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,022,821千円(前年同期比9.8%減)、うち定額制売上高は、644,658千円(前年同期比4.3%減)となりました。また、セグメント利益は、372,239千円(前年同期比14.6%減)となりました。

②fotowa事業

fotowa事業において、2025年5月に実施したサービスのリニューアルに伴う販売価格の値上げが影響し、累計撮影件数は10,448件(前年同期比5.6%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は221,861千円(前年同期比191.4%増)となりました。これは2024年12月に利用規約変更によりマッチングサービス(仲介契約形態)から自社提供サービス(請負契約形態)へ契約形態を変更したことに伴い、売上の計上方法を純額から総額へ変更したことが主な増加要因です。なお、全ての売上を総額とみなして両者を比較すると前年同期比1.4%の減少となります。また、セグメント損失は、42,988千円(前年同期はセグメント損失49,801千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ271,522千円減少し、2,338,137千円となりました。

これは主に、流動資産その他が7,842千円増加した一方、現金及び預金が175,410千円、売掛金が97,828千円、無形固定資産が3,914千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ257,824千円減少し、1,192,171千円となりました。

これは主に、契約負債が12,141千円増加した一方、未払法人税等が130,458千円、流動負債のその他が104,397千円、1年以内返済予定の長期借入金が19,964千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13,697千円減少し、1,145,966千円となりました。

これは主に、新株予約権が5,566千円増加した一方、利益剰余金が17,823千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は47.3%(前連結会計年度末は43.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表した通期業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,826,422	1,651,012
売掛金	583,483	485,654
その他	101,411	109,254
貸倒引当金	△357	△596
流動資産合計	2,510,960	2,245,324
固定資産		
有形固定資産	7,791	6,353
無形固定資産	65,696	61,782
投資その他の資産	25,211	24,677
固定資産合計	98,699	92,813
資産合計	2,609,660	2,338,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	447,556	432,409
1年内返済予定の長期借入金	19,964	-
未払法人税等	164,107	33,649
契約負債	559,960	572,102
その他	258,407	154,010
流動負債合計	1,449,996	1,192,171
負債合計	1,449,996	1,192,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,437	332,437
資本剰余金	322,437	322,437
利益剰余金	1,009,023	991,200
自己株式	△540,723	△540,531
株主資本合計	1,123,174	1,105,543
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,345	713
その他の包括利益累計額合計	2,345	713
新株予約権	34,143	39,709
純資産合計	1,159,664	1,145,966
負債純資産合計	2,609,660	2,338,137

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,258,541	1,306,891
売上原価	447,460	565,287
売上総利益	811,080	741,603
販売費及び一般管理費	※ 651,765	※ 652,056
営業利益	159,315	89,547
営業外収益		
受取利息	13	619
為替差益	815	-
受取手数料	1,817	593
その他	1,399	288
営業外収益合計	4,045	1,501
営業外費用		
支払利息	130	29
為替差損	-	1,353
支払手数料	4,435	-
その他	0	-
営業外費用合計	4,566	1,382
経常利益	158,795	89,665
特別利益		
新株予約権戻入益	3,081	-
特別利益合計	3,081	-
税金等調整前中間純利益	161,876	89,665
法人税等	50,117	29,419
中間純利益	111,758	60,246
親会社株主に帰属する中間純利益	111,758	60,246

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	111,758	60,246
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,013	△1,632
その他の包括利益合計	1,013	△1,632
中間包括利益	112,772	58,613
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	112,772	58,613
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	161,876	89,665
減価償却費	13,210	14,020
新株予約権戻入益	△3,081	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	239
受取利息及び受取配当金	△13	△619
支払利息	130	29
為替差損益 (△は益)	△697	409
売上債権の増減額 (△は増加)	22,851	97,828
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,638	△15,146
未払金の増減額 (△は減少)	△5,962	△20,402
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△529	△3,848
契約負債の増減額 (△は減少)	42,603	12,141
その他	△40,997	△81,008
小計	201,019	93,310
利息及び配当金の受取額	13	619
利息の支払額	△121	△20
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△31,993	△155,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,918	△62,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,359	△1,369
無形固定資産の取得による支出	△9,525	△10,437
敷金及び保証金の回収による収入	37,343	-
その他	-	△2,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,457	△14,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△20,004	△19,964
自己株式の取得による支出	△83,679	-
自己株式の処分による収入	-	144
配当金の支払額	-	△77,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,683	△97,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	867	△611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	91,560	△174,186
現金及び現金同等物の期首残高	1,510,054	1,845,154
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,601,614	※ 1,670,968

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当中間連結会計期間において自己株式が83,679千円 (94,400株) 増加しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
広告宣伝費	87,414千円	84,979千円
給料手当	279,463千円	273,020千円
貸倒引当金繰入額	△10千円	239千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
現金及び預金勘定	1,560,674千円	1,651,012千円
預け金 (注)	40,940千円	19,956千円
現金及び現金同等物	1,601,614千円	1,670,968千円

(注) 預け金の一部は当社提供サービスの対価回収における、決済サービス会社に対しての一時的な預け入れ等であり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,134,087	76,140	1,210,228	48,313	1,258,541	-	1,258,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,134,087	76,140	1,210,228	48,313	1,258,541	-	1,258,541
セグメント利益又は 損失 (△)	436,014	△49,801	386,212	△42,580	343,632	△184,316	159,315

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,022,821	221,861	1,244,683	62,207	1,306,891	-	1,306,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,022,821	221,861	1,244,683	62,207	1,306,891	-	1,306,891
セグメント利益又は 損失 (△)	372,239	△42,988	329,250	△53,883	275,366	△185,819	89,547

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。